

拠点名称：若者の生きづらさを解消し高いウェルビーイングを実現するメタケアシティ共創拠点

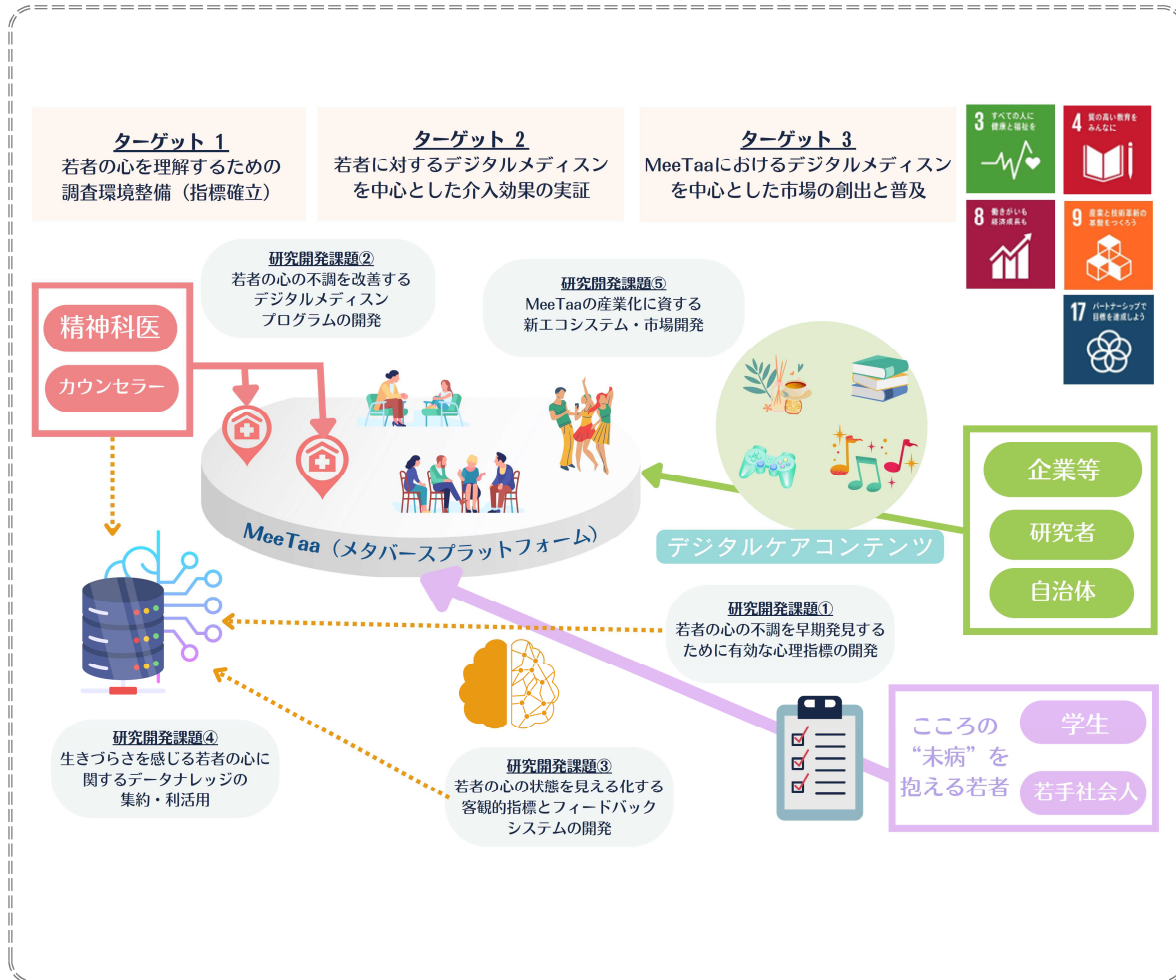
代表機関	横浜市立大学	プロジェクトリーダー	宮崎智之 横浜市立大学 研究・産学連携推進センター 教授
参画機関	中央大学、滋賀医科大学、金沢工業大学、神奈川県立保健福祉大学、神奈川大学、慶應義塾大学、横浜国立大学 住友ファーマ株式会社、株式会社村田製作所、株式会社講談社、株式会社DUMSCO、PST株式会社、株式会社テンアップ、株式会社ベネッセコーポレーション、株式会社アスケイド、サスメド株式会社、VIE STYLE 株式会社、ガーミンジャパン株式会社、株式会社Malus、株式会社セガ エックスディー、株式会社パパゲーノ、横浜市、神奈川県		

プロジェクトの概要

抑うつ、適応障害などの精神的不調や高い自殺率に見られるように、近年若者の生きづらさが大きな社会的問題となっている。現在の若者がこれから迎える100歳時代に向けて持続可能な高いウェルビーイング社会を実現するためには、社会生活が活発化する思春期・青年期から生きづらさを打破できる強靱な心（心理的レジリエンス）を持つことがますます求められる。本拠点では、生きづらさを感じる若者の心の課題を包括的に研究する新たな学術領域を構築するとともに、そこで得られる知見を基に心理的レジリエンスを獲得するための画期的な解決策（コンテンツ）をメタバース上で提供する。その効果検証ならびに持続的な社会実装を展開するため産学官共創拠点を横浜市立大学に構築する。

【ターゲット（達成すべき事項）】

- 1) 若者の心を理解するための調査環境整備(指標構築)
- 2) 若者に対するデジタルメディスンを中心とした介入効果の実証（メタバース診療所・治験基盤の構築）
- 3) メタケアシティ上におけるデジタルメディスンを中心とした市場の創出と普及



学生
若手社会人
このころの“未病”を抱える若者